

9:30~9:35

開会挨拶

9:35~10:55

一般講演G1 交通とリハビリテーション

座長：山木 垂水（医療法人社団 同仁会 京都九条病院）

G1-1 脳血管障害患者のリハビリテーション後の交通社会復帰について

○武原 格¹，林 泰史¹，一杉 正仁²，安保 雅博³

¹東京都リハビリテーション病院，²獨協医科大学法医学講座，

³東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座

G1-2 高次脳機能障害者のカーナビゲーションの可能性

—特に記憶障害（前向健忘）のある方の2事例—

○熊倉 良雄，廣瀬 秀行，並木 勉

国立障害者リハビリテーションセンター

G1-3 自動車事故による慢性期重症後遺症患者の改善例の検討

—抗痙攣剤とシャント圧に注目して—

○岡 信男¹，小瀧 勝¹，内野 福生¹，岡井 匡彦²

¹自動車事故対策機構 千葉療護センター 脳神経外科，

²自動車事故対策機構 千葉療護センター 内科

G1-4 いわゆる認知機能検査をめぐる交通問題関係者等の意識調査

西山 啓 広島大学名誉教授

11:00~11:55

基調講演

交通移動体の安全と安心 —人間中心の自動化の視点から

稲垣 俊之 筑波大学大学院システム情報工学研究科 教授

司会：阿久津正大（玉川大学工学部マネジメントサイエンス学科）

12:00~12:55

評議員会(106教室) / ランチョンセミナー I

鎮静性抗ヒスタミン薬が自動車運転パフォーマンスに与える深刻な影響

田代 学

東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター サイクロトロン核医学研究部

13:00~13:40

総会

—リフレッシュタイム—(指導：工藤 亘 玉川大学教育学部助教)

13:50~15:20

シンポジウム I これからの ITS に求められること —事故防止の観点から

座長：有賀 徹（昭和大学医学部 救急医学講座）

- S1-1 事故防止における人と機械の権限と責任
稲垣 敏之 筑波大学大学院システム情報工学研究科
- S1-2 期待されるプレクラッシュセーフティ
石川 博敏 科学警察研究所交通科学部
- S1-3 空間識失調と航空機事故
各務 志野 航空医学研究センター研究指導部
- S1-4 運転中の病気発症例への対応 —職業運転者の実態をもとに—
一杉 正仁 獨協医科大学法医学講座

15:30~16:30

一般講演 G 2 交通外傷分析・救急医療 I

座長：坂本 哲也（帝京大学医学部救命救急センター）

- G2-1 自家用車運転中の急性冠動脈症候群
○塚 正彦, 大島 徹 金沢大学 法・社会環境医学
- G2-2 胎児死亡をきたした妊婦自動車乗員の交通事故例
○川戸 仁^{1,2}, 一杉 正仁², 徳留 省悟²
¹国保旭中央病院 新生児科, ²獨協医科大学 法医学講座
- G2-3 シートベルト外傷の3例
○難波 義知, 林 宗貴, 渡辺 兼正, 佐々木 純, 成原 健太郎
昭和大学藤が丘病院 救命救急センター

16:30~17:30

一般講演 G 3 交通心理/ドライバー特性

座長：石田 敏郎（早稲田大学人間科学部）

- G3-1 不良回答選別手法適用による駐車違反の意識調査
—駐車監視員を見かける頻度と駐車違反の抑止効果—
○牧下 寛¹, 森 健二¹, 早川 敬一², 高嶺 一男²
¹科学警察研究所, ²株式会社計画研究所
- G3-2 路側駐車車両のドライバーへの精神的負荷
○藤原 将史¹, 青野 純也¹, 横森 求²
¹名城大学大学院理工学研究科院生, ²名城大学理工学部交通科学科
- G3-3 過去の交通事故・違反特性とその後の事故率の関係について
—交通事故統合データベースを利用した分析結果から—
○西田 泰¹, 安藤 憲一²
¹前（財）交通事故総合分析センター, ²前自動車安全運転センター

17:50~19:50 情報交換会(朔風館食堂)

9:30~10:30

一般講演G4 事故再現と応用

座長：松井 靖浩（交通安全環境研究所）

G4-1 PC Crash を用いた事故再現の例 第二報

—アニメーション再現での精度検証—

○小澤 芳裕¹, 木村 説男²¹株式会社ジャスティ ²株式会社 YNDRD

G4-2 衝突実験によるシート座面変形とシートベルト損傷に関する研究

○本宮 嘉弘¹, 石橋 達弥², 山内 春夫³, 舟山 一寿³¹新潟県警察本部科学捜査研究所, ²新潟大学大学院自然科学研究科,³新潟大学大学院法医学分野

G4-3 工学的交通事故解析と事実認定

—民事訴訟における事実認定の実態（力学無視の鑑定）—

○上山 勝, 小松 優介

特定非営利活動法人 交通事故解析士認定協会

10:30~11:30

一般講演G5 交通外傷分析・救急医療Ⅱ

座長：卯津羅 雅彦（順天堂大学静岡病院救急診療科）

G5-1 愛知県ドクターヘリと交通事故現場医療活動 —第二報—

○井上 保介¹, 三木 靖雄¹, 中川 隆¹, 小池 則満², 野口 宏¹¹愛知医科大学高度救命救急センター,²愛知工業大学

G5-2 Japan Trauma Data Bank (JTDB) のデータからみた外傷症例における交通事故の現状とドクターヘリ搬送の有用性についての検討

○坂本 雄一郎, 益子 邦洋

日本医科大学千葉北総病院救命救急センター

G5-3 交通事故における受傷機転の違いによる外傷形態の特徴とその重症度

—日本外傷データバンク (JTDB) を用いた検討から—

○奈良 大¹, 田中 幸太郎², 大内 正俊¹, 三宅 康史¹, 小野 古志郎³, 有賀 徹¹¹昭和大学医学部救急医学/昭和大学病院救命救急センター, ²日赤医療センター救命救急センター,³(財)日本自動車研究所

G5-4 自動車乗員の顎顔面外傷について —ITARDA ミクロデータの解析—

○一杉 正仁

獨協医科大学法医学講座

11:35~12:05

特別講演

頭部外傷後遺症・高次脳機能障害・そして安心社会

中村 紀夫 東京慈恵会医科大学 名誉教授

司会：大久保 堯夫（日本交通科学協議会 会長）

12:10~13:00

ランチョンセミナーⅡ

チューイングガム利用が夜間運転時における運転者の眠気防止に及ぼす効果の研究

野寄 伸夫

ノザキ製菓株式会社 取締役生産部長

ビデオ「誰もがいずれは高齢者 ―高齢者の事故をなくすために―

斉藤プロダクション

共催：ノザキ製菓株式会社、株式会社加藤製作所、有限会社斉藤プロダクション

13:10~14:40

シンポジウムⅡ セーフティツールの現状と課題

座長：上田 守三（小美玉市医療センター）

S2-1 北里大学病院救命救急センターにおける交通外傷の特徴

今井 寛 北里大学病院救命救急センター

S2-2 交通事故と自動車の衝突安全

―インパクトバイオメカニクスの視点から―

小野 古志郎（財）日本自動車研究所

S2-3 重症頭部外傷におけるシートベルトの影響：頭部外傷データバンクから

○卯津羅雅彦^{1,3}、大森一彦¹、奥野憲司^{2,3}、小川武希^{2,3}

¹順天堂大学静岡病院救急診療科、²東京慈恵会医科大学救急医学講座、

³頭部外傷データバンク検討委員会（日本神経外傷学会、日本交通科学協議会）

S2-4 車両安全における歩行者保護対策について

松井 靖浩（独）交通安全環境研究所

14:50~16:10

一般講演G6 歩行者・二輪車の交通安全

座長：大倉 元宏（成蹊大学理工学部）

G6-1 歩行環境シミュレータを用いた交差点における交通事故誘発リスクの研究

○陳 陽¹、水戸部 一孝¹、静 敦夫¹、鈴木 雅史¹、吉岡 尚文²、吉村 昇²

¹秋田大学大学院工学資源学研究所、²秋田大学

G6-2 自転車の安全利用の推進(Ⅱ) ―特に歩道通行をめぐる―

○向井 康雄¹、馬場 ゆかり²

¹愛媛大学医学部、²愛媛大学教育学部

G6-3 自転車運転時の視線計測と事故防止に向けた基礎的研究

○三林 洋介¹, 大久保 堯夫²

¹東京都立産業技術高専, ²健康科学研究所

G6-4 We Love BIKE ～ヘルメット&プロテクターの着用効果

—二輪利用者向け交通安全ビデオの制作—

○関根 孝史¹, 澤澄 真珠枝¹, 野崎 隆¹, 関根英仁², 寺本友彦³

¹埼玉県警察本部, ²埼玉県指定自動車教習所協会, ³交通教育センターレインボー埼玉

16:10~17:10

一般講演G7 人間特性と交通環境

座長：麻生 勤（日本自動車研究所）

G7-1 視覚障害者用道路横断帯を構成する突起高と足裏での検知性

—アイマスクを装着した晴眼者による予備的検討—

○天野 博透¹, 井上 崇也¹, 栗原 貴文¹, 大倉 元宏¹, 林 斉²

¹成蹊大学, ²大崎工業株式会社

G7-2 自動車走行時における路面段差が乗り心地に及ぼす影響

—過渡的振動による振動感覚特性について—

○小林 翼¹, 石井 誉人², 古川 順史³, 町田 信夫⁴,

¹日本大学大学院・理工, ²新東工業株式会社, ³関東自動車工業株式会社,

⁴日本大学理工学部

G7-3 覚醒度低下が体動にもたらす影響について

○伊藤 誠, 飯塚 啓司, 稲垣 敏之

筑波大学

17:10~17:15

閉会挨拶